

木津 夏美 さん

神戸大学 在学中合格

最終合格先：国家一般職
奈良県LEC受講コース：2020年合格目標 神戸大学専用コース
受講形態：通学受講 / LEC受講本校：神戸本校

私が合格・内定を獲得できた理由

メリハリをつける

私は公務員試験の勉強を5月からはじめました。LECの授業で習ったことはその日のうちか、次の授業までに復習するようにしていました。普段から、少しずつ毎日勉強することで、年明けや試験直前期も余裕を持って勉強することが出来ました。ちなみに、バイトも辞めずに公務員試験を終えることもできたり、1月、2月にも旅行に行ったりもしていました。メリハリをつけて自分のペースでなるべくストレスをためないようにしました。面接対策は、8月頃にエピソードを書き起こしてみたり、12月にはエントリーシートを書いてもらったものを担任進路相談でみてもらったり、早めの対策を行いました。

私がLECを選んだ理由

面談などで相談しやすい環境

他の予備校に比べて、個別面談など一人一人にしっかりとフォローしてくれる環境に魅力を感じてLECを選びました。勉強方法のことから面接のことまで、色々と相談に乗ってくれました。特に今年はコロナで試験が延期になり、色々な不安が募っていましたが、相談にのってもらうことで気持ち楽になりました。また、授業後などにも、質問に答えてもらったり、論文の添削をしてもらえたりして、ありがたかったです。

私の勉強方法のポイント

習ったことはすぐに復習

勉強方法で一番大切にしていたことは、授業で習ったことは次の授業までに復習するようにしていました。レジュメを見返して、該当する範囲の問題集を解くことで知識を定着させることができました。また、夏休みなど時間に余裕があるときは、問題集を初めから解き直して、苦手な所を復習しました。12月頃の模試までに主要五科目は問題集を何周かして、余裕を持って1月2月に学系や教養科目、時事などの知識を詰め込めるようにしました。最後まで数的処理は苦手意識が強かったのですが、過去問を解いて解ける問題を解くようにしてから教養の点数は安定していきま

した。数的処理は時間を意識しながら早く解くことを早い段階から意識するべきだったと思います。

私が公務員を目指した理由

地方創生に携わりたい

私の生まれ育った地域は、田舎で、過疎化がひどく、電車もバスも通っていない地域であり不便な生活をしていました。大学進学後、都会にでることも多くなりより一層、地域間格差を実感することが多くなりました。そこで、日本のどこに住んでいても豊かに便利に生活ができるようにしていきたいと思い、また、利益のでないようなところに対しても支援し、地方創生に携わることができるのは公務員ではないかと思い公務員を志望するようになりました。

私の面接試験エピソード

固くならず自然体で

私は面接のときは固くなりすぎずに、普段の自分で面接官との会話を楽しむことを意識していました。初めて受けた面接はがちがちに緊張してしまい、なかなか自分の伝えたいことを伝えられなかったため、それ以後の面接は、肩の力をぬいて自然体で受けるようにしていました。言葉遣いや、かしくまった雰囲気も重要ですが気にしすぎると、逆に自分の魅力を伝えきれなくなることもあります。普段から年配の人と会話をする機会があると、面接官ともスムーズにしゃべることができるようになると思うので、積極的に世代の違う人と会話しておくことも大切だと思います。また、面接で落ちたとしても、自分自身がダメだったわけではなく、ただ相性が悪かった、自分には合わないところだったのだと思い、落ち込むこともあまりありませんでした。